

いつ和／呉服の卸・販売

ミドル企業



呉服卸・販売のいつ和（新潟県十日町市）が展開する、20歳を迎えた子供が振り袖などを着て両親らと記念撮影などをするサービス「家族のための成人式」が人気だ。提供店舗を拡充するとともに周辺サービスも提案する。体験を通じて着物に触れる機会を増やし、魅力を次世代につなげる。

「お父さんお母さん、これからもよろしくね。」
3月、千葉県浦安市にあるホテルの宴会場で20歳の藤岡今日さんは手紙で両親に感謝を伝えた。このセレモニーのほか、約40分間、様々なポーズの写真や家族との集合写真も撮影。藤岡さんは「新型コロナウイルス禍で自治体の成人式が中止にな

「家族と祝う成人式」提案 ■ 着物ファン獲得へ体験の場



「家族のための成人式」で若い世代と着物の接点を広げる（千葉県浦安市）

つたため、良い記念になった」と振り返った。いつ和が開いた「家族のための成人式」にはこの日、7組の家族が首都圏各地から集まった。いつ和の着物レンタルを申し込んだ人が対象だ。中西昌文アニバーサリー事業部長は「若い人が着物に触れる最大の機会である成人式で新しい形を提案する」と話す。現在の成人式は自治体主催。新成人は出席後、同窓会などを楽しむ大イベントになっており、「家族と祝える場がない」と1990年代の10分程度の言葉と集合写真の記念撮影が中心だった。90年ごろまでは家族が着物を着る機会が多かった。近年はレンタルが一般的となり「客単価は1人20万円程度と以前の半分程度になった」（中西氏）。

このサービスは現在、全国8店舗で運営する成人向けサロンの利用者

約800組の家族が参加した。好評なことから今後は全国に80ある着物の販売店でもサービスを始める考えだ。

いつ和は創業100年以上の老舗呉服店だ。着物のレンタルだけでなく、以上の老舗呉服店だ。着物の拡大を狙う。

同時に、今後周辺サービスも組み合わせる。記念の指輪や旅行とのセット商品も提案する。自治体の成人式が集中する1月以外の時期の需要も開拓できる。

戦後間もない1946年に一部自治体が始まったのが起源とされる成人式は、今や全国で参加者100万人規模の巨大イベントに育った。

中西氏は家族で祝う成人式も定着させることで「着物の魅力を伝え、次世代の利用者を増やしたい」と意気込んでいる。

（新田栄作）

《会社概要》

▽本社	新潟県十日町市
▽事業概要	呉服卸・販売
▽創業	1892年
▽従業員	473人(2021年3月)
▽売上高	66億円(2020年9月期)